

水産海洋学会地域研究集会：平成18年度中央ブロック資源・海洋研究会
中央ブロック沿岸定線調査の地域水産業への活用と今後のあり方 - (速報)

秋山秀樹・広田祐一・宮地邦明(中央水研)

2006年9月13日、高知市高知グリーン会館において、平成18年度中央ブロック資源・海洋研究会と水産海洋学会との共催で、「中央ブロック沿岸定線調査の地域水産業への活用と今後のあり方」と題した地域研究集会が開催された。プログラムは下記の通りである。参加者は大学および試験研究機関を中心に58名(大学他2名、水産業試験研究機関56名)であった。

まず、北大・磯田 豊先生に「水産資源変動に関わる海洋環境変動の抽出」と題した基調講演をしていただいた。水産試験研究機関が定期的に調査している海洋調査データの中から、水産資源変動とのつながりを検出するにはどのような視点で、どのようにすれば良いのかについて、解析事例を基に紹介していただいた。

次に、本シンポジウムの主題である沿岸定線調査事業について、中央ブロック内の状況および成果報告がなされた。これまで地域水産業に大きく貢献してきた「沿岸・沖合定線調査事業」は、最近の緊縮予算や原油高騰の影響で、その存続が危ぶまれている。まず、中央水研・秋山秀樹が中央ブロックで行われている沿岸定線網の現状について報告を行った。各都県は地先海域を中心に空間的に密な観測点を配置していて、ほぼ毎月確実に沿岸定線調査が実施していること、その海洋情報は漁業者へ迅速に提供されていること、ただし黒潮を越えた沖合までの観測はあまりなく、中央水研および一部の県で沖合定線調査が年4回実施されているに過ぎないこと等を示した。次に、広域の中央ブロックの中で代表的な海域として、水道域(愛媛県・小泉喜嗣氏)、外湾域(高知県・梶 達也氏)、灘・海湾域(静岡県・萩原次快氏)を選び、それぞれの海域に特徴的な漁海況と定線調査事業がこれまで地域水産業に貢献してきた事例報告、ならびに今後の沿岸定線調査結果の活用法について紹介していただいた。

一方、水研センターでは現在海洋研究開発機構(JAMSTEC)と共同で、海況予測モデル(FRA-JCOPE)を開発中である。JAMSTECが開発した海況予測モデルJCOPEを改変し、水研-水試が取得する沿岸定線調査等の海洋情報を同化し、日本周辺海域における海況予測精度を向上させることを目標としている。中央ブロック都県の関係各位にFRA-JCOPEについて理解を深めていただくため、中央水研・小松幸生からFRA-JCOPEの現状と今後の運用体制について、そして中央水研・清水 学からFRA-JCOPEの水試-水研双方向型の利活用法(利益還元システム)についてそれぞれ報告を行った。

総合討論では、地方自治体における定線調査事業の現状と今後のあり方を議論した。高知県・山本貞夫氏には水試-行政間の認識のずれ、我々現場担当者に求められることなどについてコメントをいただいた。議論の中で、国・地方とも厳しい予算の中で定線調査を継続していく上では、調査定線の見直しは避けて通れないこと、既存のデータを吟味して残すべき定線を早急に決めること、そして我々がやっている調査・研究の内容を漁業者はじめ一般国民および行政当局にわかりやすく説明する広報活動を鋭意推進する必要があることが明確となった。中央ブロックの定線調査体制としては、定線調査データベースと海況予測モデルとの協調した新たな方向性を探していきたい。ただし、徳島県・上田幸男氏が議論の中で言われた「各試験研究機関のホームページは日進月歩で充実しているが、漁海況情報の一方通行、垂れ流し(氾濫)は良くない。調査・研究に関するわかりやすい説明資料が必要である」という意見には十分耳を傾けたい。

なお、本シンポジウムに引き続き、自由研究発表が13課題あり、黒潮水域における多魚種の生態や分布、加入に関する最新の情報が提供され、有益な情報交換が行われた。

挨拶：水産海洋学会長・渡邊良朗(東大海洋研)：(代理)・宮地邦明(中央水研)

趣旨説明：秋山秀樹(中央水研)

コンピーナー： 秋山秀樹・広田祐一・宮地邦明（中央水研）

1．基調講演「水産資源変動に関わる海洋環境変動の抽出」... 磯田 豊（北大・院・水産科学）

2．中央ブロック沿岸定線網の現状

... 秋山秀樹・斉藤 勉・清水 学・小松幸生・廣江 豊・渡邊朝生（中央水研）

3．沿岸定線調査結果の地域水産業への貢献

3 - 1．豊後水道の海洋生産力 ... 小泉喜嗣（愛媛水試）

3 - 2．定線観測による水温データからみた土佐湾における漁海況変動

... 梶 達也・田ノ本明彦（高知水試）

3 - 3．駿河湾・遠州灘の漁海況 ... 萩原快次・田中寿臣（静岡水試）

4．FRA-JCOPE の資源評価調査事業等への活用 - 沿岸定線データの活用 -

... 小松幸生・清水 学・瀬藤 聡（中央水研）

5．FRA-JCOPE における利益還元システムの利活用

... 清水 学（中央水研）・植原量行（遠洋水研）・伊藤進一（東北水研）・小松幸生（中央水研）

6．総合討論

... 座長： 宮地邦明・秋山秀樹（中央水研）

... コメンテーター： 山本貞夫（高知水試）